



平成 21 年 10 月 14 日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展 発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ

「大学サイエンスフェスタ」開催のお知らせ

国立科学博物館（台東区上野公園、館長：近藤 信司）におきましては、既報のとおり、企画展 発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ「大学サイエンスフェスタ」を下記のとおり開催いたします。

本展の開催に先立ち、別添のとおり **10月29日（木）午後4：00～午後5：30の間、STAGE1のプレス内覧会を実施**いたしますので、ご案内申し上げます。

なお、このたび各参加大学の出展内容を記載したパンフレットを添付のとおり作成いたしましたので、ご高覧下さるようお願いいたします。

「発見！体験！先端研究@上野の山」シリーズは、国立科学博物館という国内最大級の科学博物館で、大学等の研究機関と連携し、先端研究の内容や意義、成果をわかりやすく紹介する企画展示です。今回の「大学サイエンスフェスタ」は日本各地から10大学が参加し、各大学の多様な先端研究の成果を来館者が楽しみながら体験し、理解できるように展示するものです。また、各大学の活動や、その所在する地域の歴史や魅力についても幅広くご紹介します。今秋、3期間に分けての連続開催となります。

記

【会場】国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室 など

【参加大学と開催期間】

STAGE—1 2009. 10. 30（金）～11. 8（日）秋田大学、東京農工大学、福井大学、立命館大学

STAGE—2 2009. 11. 20（金）～11. 29（日）静岡大学、京都工芸繊維大学、熊本大学

STAGE—3 2009. 12. 11（金）～12. 20（日）北海道大学、新潟大学、同志社大学

【主催】国立科学博物館および参加大学

【料金】通常入館料（一般・大学生：600円（団体300円）、高校生以下無料 ※団体は20名以上）

本件に関するお問い合わせ先

国立科学博物館 事業推進部 展示総括室 担当：池本、小松

TEL 03-5814-9175、9883 FAX 03-5814-9899

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

イベント等の詳細については下記をご覧ください。

http://www.kahaku.go.jp/event/2009/10science_festa/index.html

報道関係各位

平成 21 年 10 月 14 日
独立行政法人国立科学博物館

発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ

「大学サイエンスフェスタ」 STAGE1

プレス内覧会のお知らせ

平成 21 年 10 月 29 日 (木) 午後 4 時～午後 5 時 30 分
東京上野・国立科学博物館

国立科学博物館では、発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ「大学サイエンスフェスタ」の開催に先立ち、下記のとおり STAGE1 のプレス内覧会を実施いたします。

当日は、各大学の担当スタッフによる展示解説も行いますので、是非ご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

(STAGE2、STAGE3 のプレス内覧会も、それぞれ 11/19(木)、12/10(木)の同時刻に開催いたしますので、改めてご案内を差し上げます。)

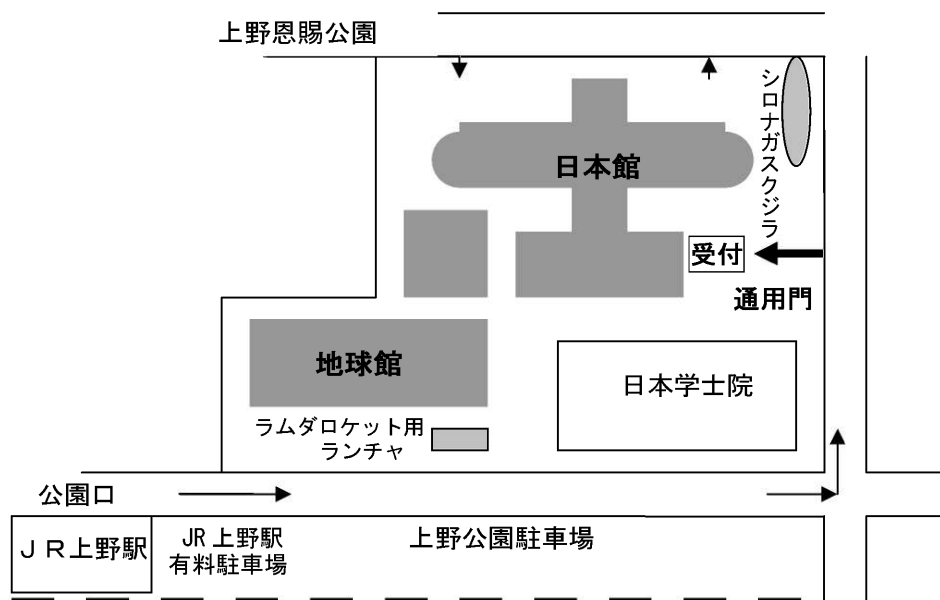
記

【日 時】 平成 21 年 10 月 29 日 (木) 午後 4 : 00～午後 5 : 30 (受付開始午後 3:30～)

【会 場】 国立科学博物館 (台東区上野公園 7-20)

【受付場所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

〈交通のご案内〉 JR上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分 ※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

午後3：30～ 受付開始 （受付場所：通用門）

午後4：00～5：30 展示室内覧（会場：地球館地下1階特別展示室）

- ・ 各参加大学の担当スタッフが展示解説を行い、記者の皆様からのご質問にお答えします。
- ・ 展示室内の撮影が可能です。

参加をご希望の方は、別紙「返信用紙」にて10月26日(月)までにお知らせ下さい。

※事前にお申し込みいただかなくても、当日ご参加できますが、大まかな人数把握をさせていただきたく存じますので、下記担当までご返信いただければ幸いです。

本件に関するお問い合わせ先

国立科学博物館 事業推進部 展示総括室 担当：池本、小松

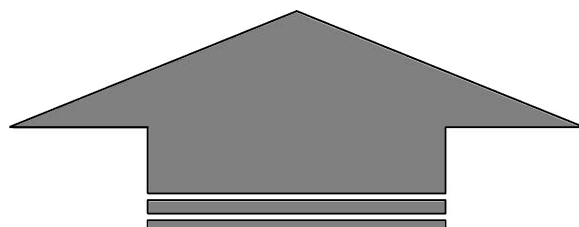
TEL 03-5814-9175、9883 FAX 03-5814-9899

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

イベント等の詳細については下記をご覧ください。

http://www.kahaku.go.jp/event/2009/10science_festa/index.html



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 9 >

企画展「大学サイエンスフェスタ」

STAGE1 プレス内覧会 出欠票

お手数をおかけいたしますが、下記項目にご記入の上、
事前にFAXにてご返信くださいますようお願い申し上げます。

ご出席 資料のみ請求

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

備考 _____

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。写真をご希望の場合は、下記までご連絡ください。 国立科学博物館ホームページの「企画展」写真貸出からもお申し込みできます。 (<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



レアメタルが語る資源とリサイクル
— 金属鉱石と廃基板 —
(提供: 秋田大学)



ウェアラブルアグリロボット
(提供: 東京農工大学)



宇宙太陽光利用レーザーの地上実証初号機
(福井大学文京キャンパスにて)
(提供: 福井大学)



バイオカートの組み立て
(提供: 立命館大学)



ポスター

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 掲載記事などについて会期、入館料などの基本情報確認のため、校正の段階でお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。
- * 写真掲載時には、写真提供者のクレジットを必ず記載ください。

〈問合せ先〉

国立科学博物館 事業推進部 展示総括室 小松、荒川
電話 03-5814-9883、9840 FAX 03-5814-9899
E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ

大学サイエンス フェスタ

上野の山に
大学の先端研究が
大集結！

発見！体験！先端研究@上野の山シリーズは、
大学などの研究機関が実施する最先端の研究を
わかりやすく紹介する企画展示です。
今回は規模を拡大、全国から10大学が参加し、
3つの期間で連続開催します。
先端研究を楽しく学べる科学の祭典、
ぜひお越しください！

STAGE-1

2009
10.30(金)~
11.8(日)

秋田大学
東京農工大学
福井大学
立命館大学

STAGE-2

2009
11.20(金)~
11.29(日)

静岡大学
京都工芸繊維大学
熊本大学

STAGE-3

2009
12.11(金)~
12.20(日)

北海道大学
新潟大学
同志社大学



STAGE-1 2009.10.30(金) ~ 11.8(日)

秋田大学

地の知、ひとの知、そらの知

みてみよう、ふれてみよう、感じてみよう、工学資源の知の挑戦

地球からのめくみ“資源”、人を知るための技術“モーションキャプチャ”、そらへの挑戦“ロケットガール・缶サット”を紹介。



みどころ

- アーバンマイン：地下に眠る資源とは？都市に眠る資源とは？
- シミュレータ：人の能力を知る「歩行者シミュレータ」、 「ハンドモーションキャプチャ」を体験。



●宇宙への挑戦：学生によるプロジェクト活動、学生によるハイブリッドロケット開発、高校生によるロケットガール養成講座及び缶サット甲子園の取組みを紹介。

関連常設展示：日本初のロケット「ペンシルロケット」はここに
 地球館 2F「新たな日本の科学技術の発展」

東京農工大学

100年先から見てみようⅡ

わくわくドキドキサイエンス体験

人類の課題解決にむかって
 農学と工学から挑戦します。

みどころ

20世紀は科学技術が進歩し人類に豊かさをもたらしましたが、深刻な問題も残しています。東京農工大学ではこうした問題解決に向かって、100年先の人類の姿を思い描きながら、わくわくするような研究を行っています。今回の展示では、そのような農工大の最新の技術、試みを紹介します。



●人のくらしと動物の力 ●大気と植物の力 ●大地と微生物の力 ●未来を拓くバイオテクノロジー／エコテクノロジー／メカトロニクス／ナノテクノロジー／インフォメーションテクノロジー ●さわろう、作ろう体験科学教室 ●フォーミュラカー ●ロボット研究会 ●電気自動車

関連常設展示：日本のバイオテクノロジーの原点、イネの品種改良に関する展示はここに
 日本館 2F北翼「日本人と自然のいとなみ」

福井大学

エネルギーのヒミツ探検隊

私たちが求めるエネルギーってなんだろう？

さあ、これから恐竜の住む4つの洞窟に入って
 エネルギーのヒミツを探検しよう！



みどころ

- エネルギーの基本は保存則！：総量を変化させずに、さまざまな姿に変化するエネルギーを紹介。
- エネルギーも使うと汚れる！：それって本当？その犯人を追い詰めます。



●エネルギーを有効に使おう！：エネルギーをできるだけ汚さず使う新しい省エネ技術を紹介。

●欲しいのはホントに物理的エネルギー？：生き生きした暮らしのために、膨大なエネルギーが必要なのか、展示を通して考えてみましょう。

関連常設展示：省エネに貢献する「太陽光発電システム」はここに
 地球館屋上(天候不変時には閉鎖)

立命館大学

テクノロジーふしぎたんけん

立命館ワールドへ！

どうして？なぜ？科学の誕生はいろいろな「ふしぎ」から。
 立命館の「ふしぎ」の世界へご招待します！！



みどころ

京都と滋賀に位置する立命館ならではのサイエンスをご紹介します！

- 歴史の町・京都：文化遺産の宝庫・京都。貴重な文化を後世に伝承・保存するために、歴史建築や伝統芸術・芸能を最先端のテクノロジーを利用し研究しています。

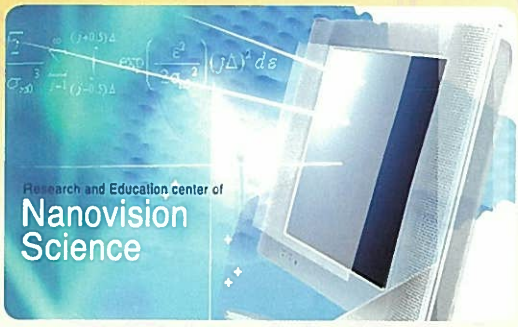
●湖の町・滋賀：日本最大の湖・びわ湖は、滋賀県にあります。母なる湖の水質調査や、生態系の保護などを研究しています。●その他にも立命館の小・中・高校生による科学研究をご紹介します。

関連常設展示：琵琶湖に生息する「ビワコオオナマズ」はここに
 日本館 3F南翼「南北に長い日本列島の自然」

STAGE-2 2009.11.20(金) ~ 11.29(日)

静岡大学

光が拓く未来社会



「光」と「ものづくりと人」をキーワードとする静岡大学の先端研究とその成果。



みどころ

- 映像科学のはじめ「高柳健次郎によるテレビ開発」～テレビから技術・産業・文化へ：浜松高等工業学校（現・静岡大学）の高柳教授によるテレビジョン開発からその後の発展。
- 先端光画像科学が創る未来技術：「21世紀COE」「知的クラスター創成事業」などの最先端研究成果（高ダイナミックレン

ジカメラ、瞳孔マウスなど）の紹介。

- 光が育む農産物の新展開：農学部が取り組む新たな作物栽培方法や、農業による地域再生などを紹介。
- 「プロジェクトX」～やрмаいか精神が生んだ静大発の技術者たち：NHKの番組に登場した高柳教授と静大卒業生15名（12テーマ）の技術者たちを紹介。また、「ものづくり」をテーマとして、全日本学生フォーミュラ大会出場車両やロボットなどを展示。

関連常設展示：「高柳式テレビジョン」はここに
地球館2F「近代化の成果」

京都工芸繊維大学

エコの未来をデザインが拓く

科学と芸術の融合・エコをデザイン！



●自然の樹木と同じ機能をもち、フラクタル構造をデザインした日よけの一部です。

シェルピンスキーの森の中で「バイオベースマテリアル」、「エコロジー」を体感してください。

みどころ

20世紀は石油の時代だといわれてきました。しかし21世紀は、エコロジーに根ざしたバイオマスの時代だといわれています。京都工芸繊維大学のバイオマスから作るプラスチック（ポリ乳酸）研究の一部を、「ウッドデッキ」と「シェルピンスキーの森（日よけ）」など、環境にやさしいデザインとともに紹介します。

- 20世紀はどんな時代か？
- バイオマスから作るプラスチック～ポリ乳酸～
- ポリ乳酸の製造技術
- ポリ乳酸の製品紹介
- 石油の時代からバイオマスの時代へ～エコの未来～



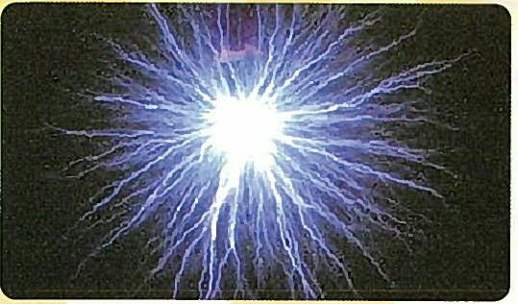
●学生が設計したウッドデッキが、展示会場に登場します。

関連常設展示：環境にやさしい化学に関する展示はここに
地球館B3F「物質を探る」

熊本大学

極限を制御せよ！

衝撃エネルギー科学と熊大マグネシウムが拓く未来



●パルスパワーによる水中プラズマ

衝撃エネルギー科学や熊大マグネシウムって何…？「極限」に挑む熊本大学の先端研究を一挙公開！

みどころ

- 衝撃エネルギー科学とは？：身近にあるエネルギーを瞬間的に凝縮して超強力なパワーとして作用させる方法や応用を研究しています。
- 「パルスパワー・プラズマ」の世界：プラズマや衝撃波を用い、ガン治療や殺菌、食品加工、環境などへの応用を目指しています。
- 「衝撃・超高压・超重力」の世界：超高

圧や超重力を発生させる仕組みや新物質の合成について紹介します。

- 「爆発と衝撃波」の世界：衝撃波による金属の接着や、食品を衝撃波で柔らかくする「爆衝レンジ」などを紹介します。
- 「超合金KUMADAI マグネシウム」の世界：2001年に熊本大学で開発された、軽くて・強くて・熱にも強いマグネシウム合金を紹介します。



●KUMADAI マグネシウム合金

関連常設展示：エネルギーやマグネシウム、新物質に関する展示はここに
地球館B3F「法則を探る」、「物質を探る」

北海道大学

北海道大学が拓く最先端科学

北海道から世界へ、世界から北海道へ



グローバルに活躍する個性あふれる研究者と研究の魅力をたっぷり紹介

みどころ

- 北海道大学の今：「北大にしか無いもの」の数々、映像で見せます。北大の研究者が子どもの頃から出会ってきた様々な「科学」を紹介、きっとみんなと共通点があるはず！
- 地球環境の未来をつくる：最近100年間の地球環境の変化を観測データでダイナミックに伝える「地球環境大年表」。子ども観測隊に入って館内の「環境」を調査しよう！
- 人間の社会を作り出す心のメカニズムの解

明：良い協力関係を作るため、人にはどんな心が備わっているのだろうか？心にも文化差があるのだろうか？心理学実験で謎に迫ろう！

- 触媒からはじまるイノベーション：北海道大学の触媒化学は世界の物質化学の研究・教育拠点を担っています。土日には触媒のおもしろさを伝える実演コーナーがあるよ！
- 人獣共通感染症の克服を目指して：インフルエンザなどの人獣共通感染症の解説。実験設備やウイルスの模型の展示。顕微鏡、実験操作、防護スーツも体験できます！

関連常設展示：過去6億年の地球環境変動に関する展示はここに
地球館B2F「絶滅と進化をうながす地球環境」

新潟大学

みずから学ぶ環境

“水から”、“自ら”自然と科学のハーモニーを創生する新潟大学



●新潟大学佐渡演習林のスギ天然林

「水」は私たちにとって身近で欠かせないもの。この水に関する展示等を通して環境問題を一緒に考え、そして自ら(水から)学びましょう！

みどころ

- 水と人が育む多様な生命：佐渡島のスギ天然林に降った雨が日本海にそそぐまでの過程をジオラマやパネルにより解説。奥山と里山における私たちと水の関わり、そしてそこに息づく生き物から環境問題について考えましょう！
- 水に関わる災害と私たちの暮らし：水は私たちの暮らしに欠かせないものですが、時

として大雨や豪雪等の災害を引き起こすことがあります。これら水による災害の様子とそれを防ぐ方法を実験や実演により紹介。水と安全な生活環境について考えましょう！

- 水と科学・技術が育む未来のエネルギー：地球と人類が調和できる新しい技術にクリーンな水素エネルギーを安全に利用し、自然の水に選ず水素の利用技術があります。わずかにもれた水素が検知できるクイック水素センサやその技術を応用した水素燃料電池ミニカー等に実際に触って、調べて、動かして、乗ってみましょう！

関連常設展示：里山で見られる生き物の展示はここに
日本館3F南翼「南北に長い日本列島の自然」

同志社大学

22世紀を創る同志社サイエンス

未来を創る最先端技術にふれてみよう！モノづくりの楽しさを体感しよう！



同志社大学の最先端の教育研究活動の一端にふれるとともに、実験や工作を通じて科学を楽しみましょう！

みどころ

- 大学生がつくったF1：同志社大学の学生がつくった小型のF1。2009年度「全日本学生フォーミュラ大会」参加車両に乗ってみよう！
- レスキューロボット体験：レスキューロボットが瓦礫をよけて、人命救助！操縦体験もできます。



- 「動く」次世代テクノロジー：人造義手(ロボットハンド)、介護ロボットなど、実用化間近の最先端応用技術で未来を体験してみよう。



- 文化を科学する：これまで科学の分析対象ではなかった「文化」を「データサイエンス」という科学的な手法で探求し、人間の本质に迫ります。
- 竹の科学：身近な植物である「竹」。研究の結果、医・農・工等さまざまな分野で活用の可能性が見えてきました。

関連常設展示：日本古来のロボット、からくり人形の一つ「茶運び人形」の展示はここに
地球館2F「江戸時代の科学技術」

サイエンスフェスタ スタンプラリー

STAGE1 から3まで、「大学サイエンスフェスタ」に参加する全10大学の
展示を回ってスタンプを集めよう！

STAGE-1 2009.10.30(金)～11.8(日)

秋田大学

秋田市にある国立大学。教育文化学部、医学部の他、秋田鉱山専門学校を前身とする工学資源学部は、資源学の教育研究分野で有名。

福井大学

暮らしやすさ調査では、常に上位にランクされる「健康長寿」の福井県にある国立大学。高い水準のエネルギー研究に取り組んでいる。

STAGE-3 2009.12.11(金)～12.20(日)

北海道大学

札幌市に本部を置く国立大学。クラーク博士の「少年よ、大志を抱け」のフロンティア精神のもと、各分野の先端研究に実績をあげつつけている。

新潟大学

本州日本海側唯一の政令指定都市新潟市にある国立の総合大学。佐渡島でトキをシンボルとする地域の自然や社会の再生プロジェクトを進行中。

同志社大学

来年創立135周年の京都の私立大学。創立者新島襄の志を今に、「社会とつながり社会に役立つ」世界レベルの最先端研究を展開中。

STAGE-1 2009.10.30(金)～11.8(日)

東京農工大学

東京都府中市と小金井市にキャンパスを置く国立大学。農学と工学、またその融合領域における研究力は高く評価されている。

立命館大学

西園寺公望を学祖とする私立大学。京都市・草津市(滋賀県)にキャンパスをもち、現在では、12学部、15研究科を有する総合大学へと発展。

STAGE-2 2009.11.20(金)～11.29(日)

熊本大学

九州の中心に位置する国立大学。再春館から250年、五高から120年の歴史を誇る。エイズや発生医学など、先端的な研究を行っている。

京都工芸繊維大学

京都市にある工科系の国立大学。バイオ、材料、情報、環境から造形・デザインまで、ものづくり中心の幅広い教育研究を行っている。

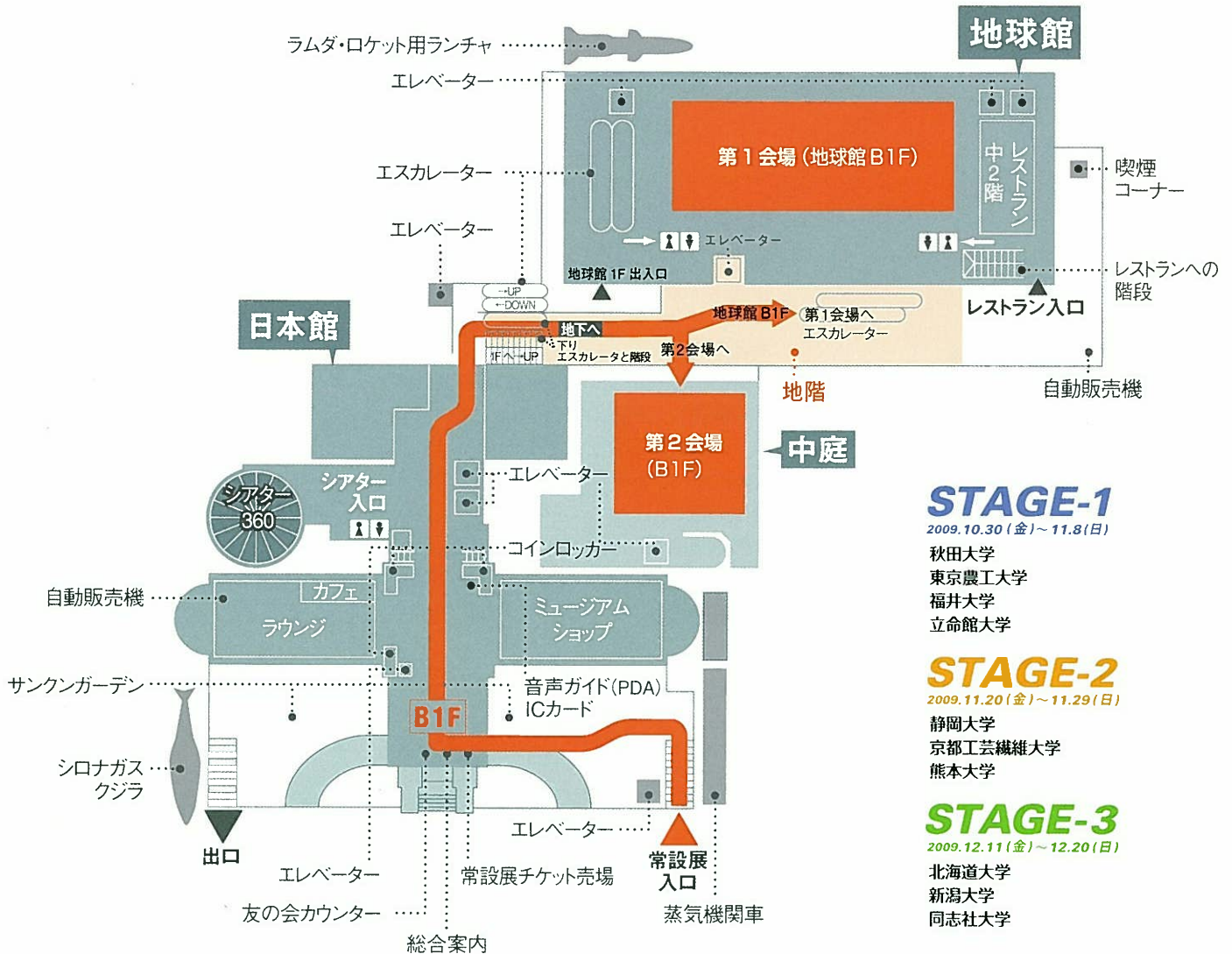
静岡大学

静岡市・浜松市にある国立大学。6学部、8研究科、1研究所の総合大学として、東海地方の教育・研究機関の中心地として活躍している。

★記念品プレゼント！

全10大学のスタンプを集めたら、記念品をプレゼント！記念品はSTAGE3の開催期間中、会場内に設置される特設カウンターにおいてお渡しいたします。10個のスタンプが押されたこのパンフレットをお持ちください。

サイエンスフェスタ会場



STAGE-1

2009.10.30(金)~11.8(日)

秋田大学
東京農工大学
福井大学
立命館大学

STAGE-2

2009.11.20(金)~11.29(日)

静岡大学
京都工芸繊維大学
熊本大学

STAGE-3

2009.12.11(金)~12.20(日)

北海道大学
新潟大学
同志社大学

リピーターズパス募集中!

「大学サイエンスフェスタ」のSTAGE1、2、3、全10大学の展示を見るならリピーターズパスがお得です。特典、会費及び入会のお申し込み方法は、日本館地下1階友の会カウンターにお問い合わせください。

TEL: 03-5814-9859 (休館日を除く)

<http://www.kahaku.go.jp/userguide/repeater/index.html>

友の会会員募集中!

国立科学博物館との結びつきを深め、自然科学をより楽しんでいただくための会です。特典、会費及び入会のお申し込み方法は、日本館地下1階友の会カウンターにお問い合わせください。

milsil 自然と科学の情報誌
[ミルシル]
ミュージアムショップで発売中! 定期購読も受付中!

開館時間: AM9:00-PM5:00

金曜日はPM8:00まで(入館は各閉館時刻の30分前まで)

●休館日: 毎週月曜日(ただし11/23(月・祝)は開館、翌11/24(火)は閉館)

●会場: 国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室 など

- 主催: 国立科学博物館および参加大学
- 入館料: 通常入館料のみでご覧いただけます。
一般・大学生: 600円(団体300円)
高校生以下無料 ※団体は20名以上
- お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600
- ホームページ: <http://www.kahaku.go.jp>

〈交通ガイド〉

JR「上野駅」公園口から徒歩5分/
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分
※駐車場はありませんので、
お車での来館はご遠慮ください

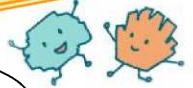


もう、ブラックボックスとは言わせません……

私たちは

こうしてサイエンスをお伝えます!

楽しく♪♪



1, 全国各地10大学と科博のコラボ

- ☆ 全国各地の国立・私立大学と、国内最大の科学博物館である国立科学博物館のコラボによる企画です。
- ☆ 特色ある先端科学を研究している大学と社会・人々を結ぶアウトリーチ活動の場です。



2, 幅広い分野にわたる、まさに旬のテーマ



- ☆ 展示内容は、最先端の科学技術から、自然、環境問題に関することまで、幅広い分野に渡ります。
- ☆ エネルギー、超合金、レアメタル、宇宙、ロボットなど、まさに旬のテーマがつまっています。



3, 参加体験型・実験型展示を主とした展示構成

- ☆ 展示資料をただ見て回るだけではありません。
- ☆ 触って、動かして、試してみましよう。そんな展示がたくさん!
- ☆ 展示とともに楽しめる様々なイベントも実施。

4, 大学のスタッフが親切に分かりやすく解説

- ☆ 難しい解説パネルが並んでいるだけではありません。
- ☆ 大学のスタッフがやさしく丁寧に解説してくれます。
- ☆ わからないことはどんどん尋ねてみましょう。遠慮は無用です。



表紙のデザインについて

今日、科学技術の高度化に伴い、先端科学がますますブラックボックス化しつつあると指摘されています。

このパンフレットの表紙のデザインは、先端科学がブラックボックスの中から飛び出して、社会・人々の前にわかりやすく姿を現したシーンをイメージして作りました。

この「大学サイエンスフェスタ」が、先端科学を皆様に理解していただき、より関心をもっていただくことに少しでも貢献できるようにという願いを込めたデザインです。

◆ 館長室から ◆ 〈2009年7月16日発行 科博メールマガジン第318号から抜粋〉

大学サイエンスフェスタ

国立科学博物館長 佐々木 正峰

「発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ」は当館で実施している企画展のひとつであり、平成14年の東北大を皮切りに、今年3月の長崎大学まで、この7年間で12大学が参加して実施してきました。

今日、科学技術の高度化に伴い、先端科学がますますブラックボックス化しつつあると指摘されています。このシリーズ開催の趣旨は、大学のアウトリーチ活動の一環として、展示や教育活動のノウハウを有する国内最大の科学博物館である当館との協働により、大学が行なっている特色ある先端科学を、分かりやすく一般の方々に普及するという事です。このイベントの主な特徴としてまず挙げられるのは、一つ目として、パネルによる解説だけではなく、実物資料を用いて展示していることです。二つ目としては、大学の若手研究員や大学院生を解説者として配置していることです。これは、分かり易く親しみ易い形で説明したり、質問に応えたりすることにより、子どもから大人まで幅広い層の来館者とのコミュニケーションを重視した展示にしていることです。三つ目としては、主に子どもたちを対象に、実験・工作等の参加体験型の活動を重視していることです。このような活動は従来の大学の枠を超えた博物館との連携協働によって初めて生まれた活動といえます。

これらにより、大学の研究内容や意義を、多くの方々に知ってもらうことができるなど、大学の広報にとってメリットが多く、毎年、参加を希望される大学が多数あります。こういう状況を考慮し、このたび複数の大学が一同に会して展示を行なう「大学サイエンスフェスタ」を開催することとしました。複数の大学がそれぞれ工夫し、相互に刺激し合い、質の高い展示を展開することで、大学と社会、人々をつなぐ、アウトリーチ活動の拠点となる事業として進めていきたいと思っております。

大学サイエンスフェスタは、10月下旬から12月中旬にかけて10大学を3グループに分けて、それぞれ9日間ずつ、3回にわたり実施します。また、従来は国立大学だけの展示でしたが、今回は私立大学も2校参加し、間口を広げての展開を行います。展示内容は、エネルギー、超合金、レアメタル、宇宙、ロボットなど最先端の科学技術から、自然、環境問題に関することまで、幅広いテーマに渡ります。また、エコ楽器のコンサートなど各大学が趣向をこらした様々なイベントや、地元の観光協会などとタイアップした地域PRなども併せて行ないますので、どなたにも楽しみながら参加していただけることと思っております。

このように大学と当館がコラボしながら先端科学を紹介することにより、博物館が行う自然史、科学技術史に関する活動の枠を先端科学にまで広げることが、当館にとっても関連する常設展示を深化させ、常に最新の研究動向とリンクさせて展示できるというメリットがあります。大学と連携しながら、身近な場で先端科学について、理解や普及させていくことに貢献することも今後の博物館の大きな役割と考えています。

当館は、大学のみならず、社会の諸セクターと連携協働し、新しい価値の創造に向け、従来にも増して積極的に取り組んでいきます。